

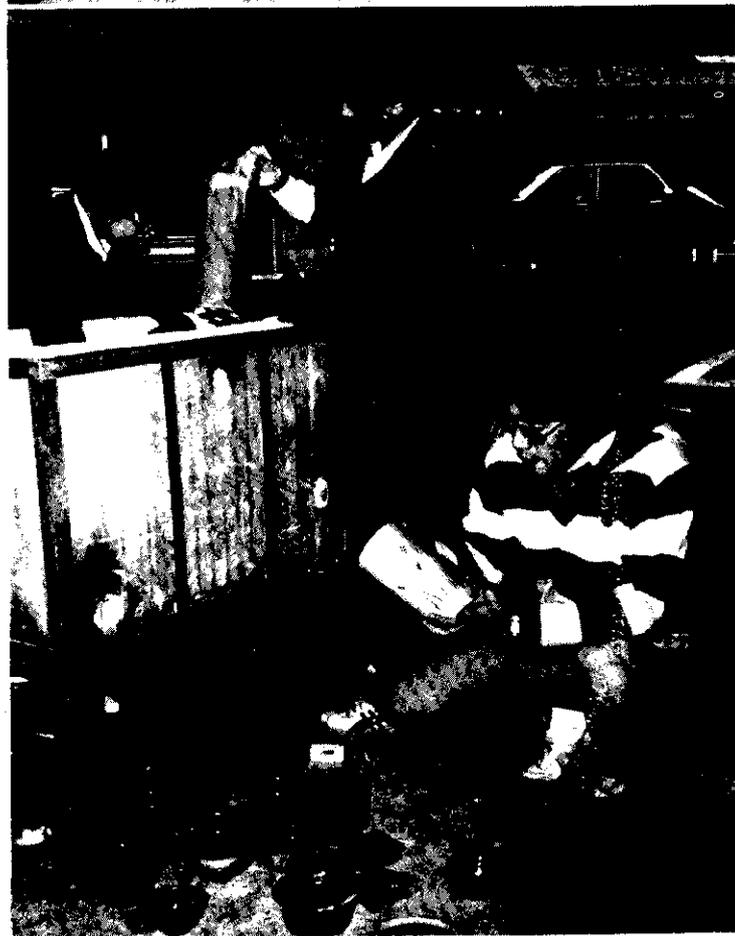
# 市報

# とおがまち

# 11/10 November

編集／十日町市役所総務部総務課企画広報係(電話代7-3111番)・発行／毎月10日

□301号□



# 美佐島郷に新しい波 赤倉小学校開校



閉校になった大池小学校

## 大池小は百六年の 歴史をとじて閉校

明治九年の開校以来、百六年の伝統を誇っていた大池小学校が児童数の減少から閉校になり、新たに赤倉分校が独立して、三十一日、大池小学校の閉校式と赤倉小学校の開校式が行われました。

大池小学校本校の今春の児童数は五人でした。そのうちの一人が七月に転校し、二学期からは四人で勉強していました。その四人も、十一月中旬になると冬季分校が開設される津池の児童で、冬季分校が開設されると本校に一人も生徒がいない状態に追いこまれていました。

そのため、市教育委員会では地元の要望にそって、具教育委

員会と善後策を協議してきた結果、年度途中の変則的な時期ですが、十月三十一日限りで大池小学校を閉校し、同時に赤倉小学校を独立させることになったものです。

### 千七百三十二名の 卒業生を送り出して

大池小は、明治九年の開校以来、百六年間に千七百三十二名の卒業生を世に送り出し、一時は、軽派、赤倉の両分校をあわせて在校生も二百二十二人を数えていました。しかし、昭和四十年代に入ると過疎化の急激な波に洗われて、年々減少し、昭和四十七年には、軽派、四十九年には、美女木分校が開校になっていました。

閉校式で、小林賢祐閉校実行委員長は「学校を地域発展の要として、地域民の愛着の中で育ててきた。閉校になるのはさびしい限りだが、同じ学区内に赤倉小学校が独立したので、赤倉小学校の発展のため地域ぐるみで協力してゆく」と式辞を述べた十六人の生徒は「山菜どりや大池での釣り、地区民あがての運動会など、四季折々に思い出の深い大池小学校よサヨナラ」と別れの言葉をのべました。閉校式に出席した約六十人の学区民は、児童の別れの言葉や最後の校歌にハンカチで目頭を押える人も多くいました。



1年 庭野六輔君

### 大きな声であいさつ

ほくは、この赤倉小学校生になって、これだけやりたいこと

があります。まず、みんなとかよくすることです。つぎに、大きな声であいさつができるようにしたいです。それから、学校の中や、きょうしつをいつも、きれいにせいりしたいと思います。かべにはってあるものが、とれていたらきちんとおたいたいです。さいごに、いっしょうけんめい、べんきょうしたいです。



1年 庭野美佐恵さん

### 赤倉小のたんじょう日

赤倉小学校、たんじょう日おめでと。

私は、この学校をきれいにしたいと思います。黒板も毎日、きちんとけし、花びんの水かえも忘れないようにします。黒板消しをポンポンするのもらんとやりたいです。それから、大きな声で元気よくあいさつをしたいと思います。一、二年の先生がいない時もなまけないで、勉強をして、りっぱな二年生になりたいと思います。



3年 小林茂雄君

### 友だちが多くなる

この赤倉小学校の一員としてぼくが思っていることは、みんな

など協力しあってゆくことです。今までの大池小学校がなくなつて、そのかわり赤倉小学校ができました。仲間もふえて力強く感じてきました。今まで友だちが少なくて、できなかったこともあったけど、これからは、みんなと力を合わせて、できることがいっぱいあると思います。だから、これからは、赤倉小学校生としてがんばってゆきたいと思います。

### 大池小がなくなるのは さみしいけれど 4年 小林典子さん



私は、大池小学校がなくなるのはとてもさみしいけれど、赤倉小学校がはじまったのでとてもうれしいです。だけれども悲しいことがもう一つあります。それは、赤倉小学校で勉強できるのは10日間くらいしかなく、もうすこしたつと冬季分校に行かなければならないことです。

ただと今、赤倉小学校の一員になったんだから、赤倉小学校の一員らしく、1、2年や3年生に負けないように、勉強や運動をしていきたいと思ひます。

### 複雑な気持 5年 小林一広君



赤倉小学校ができてうれしいです。でも、大池小学校が閉校になって残念です。

ぼくは、うれしいことと、残念な気持がいっしょになっておかしい感じです。

でも、いままでは、全校で4人だったけれど、こんどは、12人の大勢の中に入って勉強したり遊んだりできるのでうれしいです。

### 忘れられない1日に 6年 阿部直美さん



赤倉小学校の開校の日には、山々はきれいに紅葉してよく晴れていました。私も秋が好きだから、この日は忘れたい一日になりました。

この赤倉小の初めの高学年だから、みんながどんな事でも協力するような、よい学校にしていかなければなりません。

これからは、積極的にやることを目標にしてがんばります。

## おめでとう



## 赤倉小学校

三十一日、午前には大池小の開校式が終るとすぐ、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、と離れた赤倉で、赤倉小学校の開校式がありました。校舎の玄関に諸里市長の筆による「赤倉小学校」の真新しい校札が掲げられると開校式の時はうって変わって、大きな拍手が沸きあがりました。一転して喜びの開校式で市長が「赤倉の学校には、今度はいつも校長先生がいる。八人の先生方と十六人の生徒で元気にやっても、教育にへき地があってもはならない」と挨拶し、渡辺校長は「小人数でも、職員と児童が手をとりあって、この地域に生きる喜びをみつけ、人間性豊かなたくましい子、心を磨き、身体を鍛える子に育てたい」と話していました。

十六人の児童は、ちっちゃな体育館に響きわたるような大きな声で「赤倉小学校誕生おめでとう、今日からは赤倉小学生」と元気に喜びを表していました。

### 十一日には津池冬期分校生とのお別れ会

二日からは赤倉小学校での授業開始です。でも、十六日からは、津池の四人が冬季分校に行ってしまうため早速お別れ会の相談です。担任の前田先生は「分校と本校の交流がうまくいったので、生徒はすぐ仲良くなった。子供たちも人数が増えて喜んでいる。ここの子供たちは素直な良い子ばかりなのだから、積極性も身につけたたくましい子に」と話していました。がんばれ赤倉小の児童たち！

## 市民と語る日 終る

四月から毎月一日に実施していた、市民と語る日が十一月で終了しました。冬期間は休みで、来春四月から再開します。今年度の延参加者は、五十七組三百二十六人でした。八月一日には、国際障害者年にちなみ、身障者と語る日を開催したり、水沢、吉田、下条地区で移動市民と語る日を設けるなど、三年目を迎えて、すっかり定着した行事になりました。

### 廃校になった大池小校舎を社会教育施設に

長谷川時夫さん・半間正さんほか



廃校になった大池小校舎をとり壊さずに社会教育施設として活用させて欲しい。地元の学区民からは校舎の維持管理がむずかしいのでとり壊して欲しいという要望が文書ででている。市有財産は個人には借せないで、振興会などから借りてもらい施設は残すようにしたい。管理使用方法は、関係者とこれから協議したい。

**郵便局から誕生記念  
アルバム贈呈**  
郵便局では、十月の簡易保険郵便年金月開行事の一環として昭和五十六年十月一日から十月七日まで出生した幼児の誕生を祝い、健やかな成長を願って誕生記念アルバムを贈呈しました。市内の対象者は十三名でした。

**巡回内職相談日**  
11月20日（金）  
午前10時～午後3時  
市役所市民相談室

### 防雪施設

### コミュニティ施設

## 東枯木又に 冬期孤立集落管理センター

～冬期孤立集落機能維持施設整備事業～



昭和五十四年度の赤倉地区に続いて、枯木又地区にこのほど冬期孤立集落管理センターが完成。この冬期孤立集落機能維持施設整備事業が二箇所実施され

た市は、県内では十日町市だけです。これは五六豪雪における山間地の生活不安などの実態に基づき、根強く県に要望したものが実を結んだもの。鉄骨造二階建の管理センターには、一階に車庫、二階に集客室があり、特徴としては屋根は雪割ブラヒート付自然落下方式となっています。

このセンターに、いままでの雪上車のほか新たに、湿地ブル(D三B型)が加えられ、冬期孤立の解消、出稼きによる人手不足の解消などにその機能を十分活用することになります。

〔総事業費…二千百万円〕

## 着々と整備されています

## ふるさと会館 明るい子どもの家

鉢に

～魅力ある郷土建設整備モデル事業～



昨年着工した真田野球場(竣工は今年六月)に続き、鉢地区には、コミュニティ施設であるふるさと会館、明るい子どもの家が、このほど完成しました。

年々進む過疎化の地域に、魅力ある郷土建設整備事業として建設された三つの施設は、子どもたち、若い人から老人まで、みんなの希望や要望に基づいて建設されたものです。

ふるさと会館は、鉄骨二階建て、やすらぎ、ふれあい、集いの部屋のほか、近代的な調理室があり、名称のとおり、ふるさと発展の拠点の施設として、明るい子どもの家は、木造平屋建て、のびのびのブルーム、あそびの部屋、まなびの部屋があり、将来の地域を担う子どもたちの施設として機能するものです。

昨年(総事業費—五千百万円)

### 過疎化の波をとめるために



尾身 昭さん

昨年の二月、県の主催したコミュニティの研修に参加させてもらって以来、過疎という問題をもつ地域で、何をすべきなのかを考えて来た。それぞれの施設は地域みんなの意見を反映してできたものだが、過疎化をとめ、地域発展のための拠点として今を出発点に考え努力したい。

### 克雪の拠点に



東枯木又 阿部 正 行さん

昨年も保安要員をしたが超豪雪で大変だった。ブルは十二月末には動かなくなった。今度新しく入れてもらったのは湿地ブルだから今年は大丈夫だろう。保安要員も二名になり、今年の交通確保は希望もてる。学校や住宅の雪もブルで押せるし、部落の人はだいぶ楽になる。それと良いセンターもできたし、冬を乗り切る拠点になると思う。

### 寄贈ありがとうございました

#### 携帯用無線機(四台)

市農業協同組合

十日町市農業協同組合(樋口真一組合長)では、市の交通安全対策のために、携帯用無線機四台を市に寄贈されました。交通整理や事故の処理などにこの無線機の機能が十分生かされることになり、交通対策の関係者一同が非常に喜んでいました。

#### リハビリ機器(十三機)

金子 鏡子さん

市内諏訪町の金子鏡子さんはこのほど市に、保健衛生事業にリハビリ機器(スキートレーナー、ぶらさがり器など十三種類の機器—八十四万円相当)を寄贈されました。これは、保健センターのリハビリ室に設置され、市民の皆さんの健康回復や増進のために利用されます。

#### 防犯灯(二十灯)

東北電力㈱

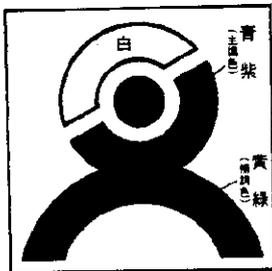
東北電力㈱では、毎年、防犯灯を市に寄贈されていますが、今年は二十灯を寄贈されました。これは市内の山間地にそれぞれ設置されることが決まっています。



# 克雪フェアの準備すすむ!!

## 克雪シンボルマークが決定した

「克雪はふるさとを愛することから始まる。」を基調に、克雪に対して市民ぐるみで立ちあがっている十日町市を象徴するものとして、



雪を持ちあげ投げおろす力強い人間(市民)の姿を市章に合わせデザイン化したものです。

10月31日まで募集されていた「克雪シンボルマーク」は、25名、51点の応募がありました。市が委嘱した3名の選考委員の厳正なる選考の結果、下記のとおり、授賞者が決定しました。

- 入選 鈴木 茂さん(本町6)
- 佳作 佐藤 陽一さん(長岡市) 岡田 征六さん(中条中町) ~多数の応募 ありがとうございます~

## 『私のアイデア』を募集中です

克雪フェアに、『私のアイデア』発表コーナーを設けます。

雪を克服し、明るく住み良い町を作るため、雪との闘いの中から生まれた知恵、アイデアを募集しています。内容は、屋根雪処理、融雪雪についての工夫など何でも結構です。なお、応募する際の書式は自由ですが、克雪フェアの会場に展示する場合には規格その他につきましては、後日、係より連絡をさせていただきます。

(募集期間・11月25日(水)まで、宛先・千歳町3丁目3番地、十日町市役所総務課企画広報係 ☎7-3111 番内線235)

# 克雪フェアは12月5・6日です

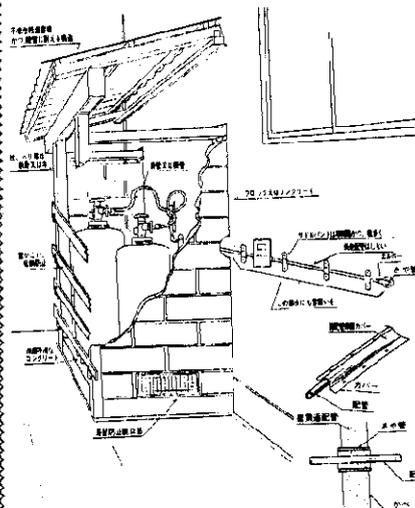
- 雪に関する各種展示
- 講演会「手づくりのふるさと」
- 克雪都市宣言記念式典
- 宣言記念講演会
- ふるさとの味コーナー
- 冬用品展示即売 など

ガス爆発は逃げる間もなく、一瞬にして大惨事を引き起こします。そして毎年、積雪時にこの事故が多く発生しています。

これは、積雪、雪おろしなど雪の重力により配管にヒビが入ってガスが漏れ、空気より重いガスが、家の周囲の雪のために外に出ず、家の中に溜って爆発するもので大変危険です。

雪の重みが、ボンベや配管にかららないよう雪囲いをしてください。

長期間の場合は、下図のような方法がよいのですが、取りあえず応急的な雪囲いの方法として、角材または丸太を立てかけ



# プロパンガスのボンベ・配管部等に雪囲いを!

その上に「亜鉛引鉄板(アタシ)・波型亜鉛引鉄板など」を打ちつける方法だけでも、是非、実施してください。

(一般に使用されている調整器は、その材質・構造から、雪など落下する重量物に対してほとんど無力と思われま)

## 消火器の悪質販売に



十日町地域消防本部では、一般家庭においても、消火器の購入・設置は大変良いことなので、是非おすすめしています。が、最近、当地域にも、種々嘘の言動で消火器を売りつける悪質業者が現われています。

よく確かめて信頼できる業者から購入するのが賢明です。

なお、消防署員は、消火器の販売などはしておりません。不審に感じたときは、十日町地域消防本部(☎七―一五五五番)へお問い合わせくださるようお願いいたします。

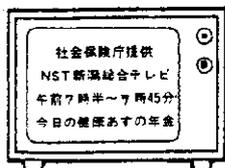
# 外国人のかたも国民年金の対象に

57年1月から

日本国籍がなくとも、日本に住所のある外国人のかたで、厚生年金の加入者でない場合は、日本人と同様、国民年金の加入ができるようになります。これは「難民条約関係整備法」により、国民年金法から国籍要件が無くなったからです。これにより、本人のほか、奥さんも任意加入ができるようになります。加入後は、障害福祉・母子(准母子)・福祉年金がうけられます。

この手続きは、事務処理など準備期間などが必要なことから昭和五十七年一月から実施することが予定されています。(なお、日本人と同じ取扱いをする以外、特別な措置はありません。)

テレビで年金を考えてみましょう



11/14日...年金の手続きはすみやかに 11/21日...やっていますか?健康づくり

## 税を知る週間

11/11 ~ 11/17



毎日の生活と深いつながりのある税金について、皆さんに理解を深めてもらうため、ことしも十一月十一日(水)から十七日(火)まで「税を知る週間」を実施します。この機会に、「税金」についてもう一度見なおしてみてください。

## 税の相談はお気軽に

税金についての相談・苦情などをお受けするため、つぎのように、税務相談所を開設しますので、気軽にご利用ください。

○とき 十二月九日 午前10時から、午後三時まで

○ところ 十日町市役所 市民相談室

○相談事項 所得税・贈与税・相続税など税務相談や、その他苦情相談です。

# 創立二十周年記念式典を挙行

県立十日町実業高等学校

十一月一日、午後二時から、県立十日町実業高等学校(田中泰治校長)の一創立二十周年記念式典が厳かに挙行されました。

この二十周年という伝統は、「十実」の新しい歴史への第一歩といえるものです。

同校は、昭和三十七年に十日町高校より分離独立して以来、今日に至るまでの二十間に四千五百五十一人の卒業生を社会に送り出し、さらにこの十日町の地場産業振興の基盤ともいえる農業や織物業界に多く若い人達の育成に貢献してきました。

この日挙行された記念式典のほかに、大運動会や講演会の記念行事、記念誌の発刊や卒業生



# 市民体力テストに参加を

市では、市民が自分の体力や運動能力について確かめてもらい、不足している能力を高めようと市民体力テスト測定の日を行います。

**日時** 11月21日(土)、午前10時～午後3時  
**会場** 市民体育館(☎7-5208番)  
**対象** 小学校5・6年生以上の男女  
**申込み** 体育館または市・体育課(☎7-3111番内線275)へ。当日申込みも可。

**体力診断テスト** (29歳以下)  
 反復横とび、垂直とび、背筋力・握力、踏み台昇降、伏臥上体そらし、立位体前屈

**壮年体力テスト** (30歳以上)  
 反復横とび、垂直とび、握力、ジグザグドリブル、急歩

# ミニ・バスケットボール指導者実技講習会

市教育委員会では、ミニ・バスケットボールの指導に必要な実技研修を行い、指導者としての資質向上のため講習会を行います。

**日時** 11月18日(水) 12:30～16:10  
**会場** 市民体育館  
**講師** 野島幸雄氏(県立東三条高校教諭)  
**申込み** 市・体育課(☎7 3111番内線275)

# 山本康平さんに自治大臣表彰

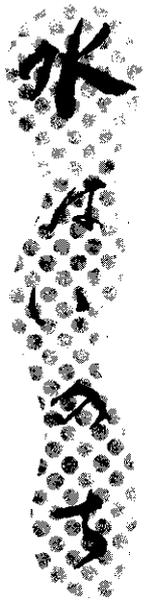
市公平委員会委員長の山本康平さん(学校町)は、二十年間公平委員として尽力され、十月二十八日、東京九段会館において、公平委員会制度三十周年記念自治大臣表彰を受けました。



**塩之又森緑公園**  
 11月9日から閉鎖

多数のかたからご利用いただいたトリムコース・テニスコートは来春まで使用できません。

# 水の需要量



わが国は、人口一人当たりの降水量が、世界平均の五分の一と少なく、地形的な要因から、地表水の利用も比較的、困難な状況にありながら、年間降水量が多い所から、水の豊かな国として認識され、水は自由、ふんだんに使用出来る代表的なものとして、あつかわれて来ました。

水需要は、その用途により、(1)農業用水、(2)生活用水、(3)工業用水に分類されていますが、(2)と(3)を都市用水として一括することもあり、又生活用水を、家庭用水と都市活動用水として細分化する場合もあります。

昭和五十年における、わが国の水需要量の見通しは、別表の通りですが、総使用量が約八百七十億m<sup>3</sup>で、その内訳は、生活用水約百二十億m<sup>3</sup>、工業用水約百八十億m<sup>3</sup>、農業用水約五百七十億m<sup>3</sup>となっています。

とくに昭和四十年から昭和五十年までの十年間に、水の使用量は、生活水準の向上、産業経済の進展に伴い、生活用水では約二倍に、また工業用水では約一、四倍と著しく増大しました。

このような急激な需要の増大は一方では問題を生じています。

# 昭和65年度における水需要の見通し

(単位:億m<sup>3</sup>/年)

地域区分	昭和50年				昭和65年				都市用水の需要増加量等				農業用水の需要増加量	合計
	生活用水	工業用水	農業用水	合計	生活用水	工業用水	農業用水	合計	生活用水	工業用水	地下水・地熱水等	計		
北海道	4.1	12.3	43	59.4	9.1	22.0	49.8	80.9	5.0	9.7	0.4	15.1	6.8	21.9
東北	10.0	18.8	158	186.8	19.7	36.4	175.3	231.4	9.7	17.6	1.8	29.1	17.3	46.4
関東	内陸	8.0	10.2	73	91.2	15.8	23.1	85.7	124.6	7.8	12.9	4.7	25.4	12.7
	臨海	35.4	23.7	27	86.1	59.2	27.6	29.2	116.0	23.8	3.9	22.7	50.4	2.2
東海	15.2	37.2	41	93.4	25.5	59.5	47.5	132.5	10.3	22.3	10.3	42.9	6.5	49.4
北陸	3.0	10.9	33	46.9	5.7	14.8	35.1	55.6	2.7	3.9	3.0	9.6	2.1	11.7
近畿	内陸	5.4	6.0	21	32.4	9.3	11.7	25.0	46.0	3.9	5.7	0.8	10.4	4.0
	臨海	19.0	20.6	26	65.6	27.8	24.6	27.9	80.3	8.8	4.0	9.1	21.9	1.9
中国	山陰	1.1	1.8	14	16.9	2.2	3.9	14.8	20.9	1.1	2.1	0.1	3.3	0.8
	山陽	6.4	15.9	37	59.3	11.2	25.4	37.6	74.2	4.8	9.5	1.6	15.9	0.6
四国	3.7	9.9	24	37.6	6.7	14.4	27.3	48.4	3.0	4.5	0.9	8.4	3.3	11.7
九州	北九州	7.1	7.4	40	54.5	13.1	15.4	45.1	73.6	6.0	8.0	1.2	15.2	5.1
	南九州	3.9	7.8	32	43.7	7.4	13.4	35.9	56.7	3.5	5.6	0.2	9.3	3.9
沖縄	1.1	0.3	1	2.4	1.9	0.6	1.6	4.1	0.8	0.3	0.4	1.5	0.6	2.1
全国計	123.4	182.8	570	876.2	214.6	292.8	637.8	1,145.2	91.2	110.0	57.2	258.4	57.8	326.2

資料:長期需給計画(国土庁)

シリーズ No.8

# タウン誌「ポッケ」発刊

十日町青年学級ミニコミ紙研究コースでは、このほどタウン誌「ほっけ」を発刊しました。  
 家の後継ぎ問題を考える座談会や百人に聞きました、マンガ、懸賞付きクロスワード等、バラエティに富んだ内容です。あなたも「ほっけ」を通じて、コミュニケーションしませんか!!  
 十日町市民館または書店でお求めください。定価は三百円です。



おらはおめえのもぐらもち

どこかの山に囲まれた農村でのお話。

藤吉の家では、結婚しなければならぬ人間が三人もいた。主人の藤吉は後妻を、伴の雄一は嫁を、そして娘のよしえは...

十日町高校演劇部  
内木 文英 作

# 演劇の夕べ

さば売りと山んば

演 親 会

11月15日(日)  
夜6時~  
市民会館ホール

冬、山の中の一軒家。吹雪の晩、道に迷った旅人が一夜の宿を借りに来ます。喜んで迎えてくれたばあさんの様子がどうもおかしいのです。旅人がこっそり台所をのぞくと...

県内に残る昔ばなし

## 県民会館ホールのご利用を

近年、同好会やアマチュアグループ、学生等による各種芸術展が盛んになっていますが、展示場の不足、借館料の高騰等で会場を確保するのが困難な状態になっています。

そこで県民会館では、会館内に展示ホールを設け、低料金でお貸ししています。展覧会や個展などに広くご利用ください。申込み等詳細は、県民会館事業課(☎0252-28-4481番)へ。

### ●使用時間・料金など

	使用時間	使用料金	使用面積
展示ホール	A 9時~17時	1日 2,400円	1階 104㎡
	B 9時~17時	1日 4,500円	1階 195㎡

## ☆アメリカ映画の夕べ

11月28日(土夜) 6:30~

会場：市民会館ホール

〈主催〉

十日町青年学級

映画評論コース

## 甦れ、ジミー!!

〈入場料〉

一般 600円

学生 500円

—当日100円増—

「エデンの東」  
「武器よさらば」

## 魚沼学園

文化祭開催

県立月ヶ岡養護学校  
 魚沼学園(小出町大字十日町)では、つぎのとおりに文化祭を開催します。今年には国際障害者年でもあり、地域の皆さんから、園児の作品・活動を見てもらうよい機会ですのでぜひともおいでください。  
 日時 十一月二十二日(旧)午前九時~午後三時  
 場所 魚沼学園体育館  
 内容 園児作品の展示、農作物の即売・学園生活のビデオ上映

## 市民吹奏楽団 第八回定期演奏会

日時 十一月二十二日(日)

午後六時開演

入場券 大人五百円

小・中・高校生 三百円

場所 市民会館ホール

曲目 チャイコフスキー

作曲大序曲「一八二二年」ほか六曲



# 雪との闘い

記録写真集 / 56豪雪の十日町

予約受付中!

「雪との闘い」は、先日囃託員さんを通じて予約申込みをとらせていただいたところです。なお、11月20日までの予約分は、価格2,300円となっていますので、予約を希望する方でまだ申し込んでいない場合は下記までご連絡ください。

■発行日 12月1日(予定)

■定価 2,500円、予約価格2,300円

(11月20日予約分まで)

■申込先 十日町市千歳町3丁目3番地市・総務課企画広報係 (☎7-3111番内線236)

# 児童扶養手当が増額に

## 児童扶養手当

この手当は、父と生計を同じくしていない児童を養育、監護している母又は養育者に支給されます。

ただし、受給者及び児童が公的年金(障害、老齢福祉年金を除く)を受けているとき等は除かれます。

手当の対象者

1 父母が婚姻を解消した児童

2 父が死亡した児童

3 父が法に定められた障害の状態にある児童

4 父が生死不明、遺棄、拘禁(一年以上)されている児童

5 未婚の母の児童

手当支給額

八月份(十二期支給分)から次のように改正されました。

一人 三二、〇〇円(二九、三〇〇円)

二人 三六、二〇〇円(三四、三〇〇円)

三人 三八、二〇〇円(三六、三〇〇円)

(二内は改正前)

## 十日町町安かおの知らせ

十一月は「雇用保険適用促進月間」です。

雇用保険や労災保険などの労働保険の適用は、一人でも雇用していれば当然適用しなければ

四人以上の場合は一人増すごとに二千円が加算されます。

支給月

四月(十二月、三月份)

八月(四月、七月份)

十二月(八月、十一月份)

所得制限

この手当には、受給者が扶養義務者の所得による支給制限があります。ご相談は、市民生活課年金係(☎七三一一番内線二二八)へ。

## 特別児童扶養手当

この手当は、二十歳未満の重度の心身障害児を養育している人に支給されるもので、障害の程度により一級と二級に区分されています。

手当支給額

八月份から左記の通り改正されていますので、十二月支給時より増額されたものになります

一級 三六、〇〇円(三三、八〇〇円)

二級 二四、〇〇円(二二、五〇〇円)

(二内は改正前)

ならないと定められていますが、小規模事業所等には、未加入の事業所が少なくありません。農林水産業を除く未加入のところは早目に加入の手続きをしてください。

お問い合わせは、十日町公共職業安定所(☎七二二四〇七番)へ

## ふるさとの旬の料理 ⑧

### 納豆汁

#### 調理法

①納豆を擂鉢に入れ、初め大根でつぶし後擂粉木ですってカップ2はいのだし汁でのばしておく。

②塩蛙は1cm角切り、里いもは小さめに切る。ずいきは熱湯をかけて灰汁めきして2cm長さになり、ゴボウは笹がきにする。

③②の材料をだしの張った鍋に入れ軟かく煮る。次に味噌をとり入れ煮立ったら豆腐、納豆を入れる。納豆を入れたら煮立たせないようにする。

(郷土食)として

冬、寒い時に作り、ふうふう言いながら食べます。又釜神様のとしとり(1月3日)に食べるところもあります。

### 小薯の煮ころがし

材料	調理法
小薯(馬鈴薯) 1kg	①薯は熱湯でゆでておく。
醤油 大5	②鍋に油を熱し、薯を炒めだし汁と調味料を加え弱火にて薯に皺が出来てくるまで気長に煮る。
砂糖 大4	
酒 大2	
みりん 大1	
油 大4	

(郷土料理研究会 いろり会)

## 国民金融公庫で 年末融資

年末は、資金需要の一番多い時期です。国民金融公庫では、中小企業向けの事業資金として

次のおとり年末融資を行います。融資金額 千八百万円以内

返済方法 月賦払い

詳しくは、市商工課(☎七三一一番内線二六六)、十日町商工会議所(☎七三一一番内線二六六)、水沢商工会(☎八一一三〇三五番)へ。

設備資金 七年内以内

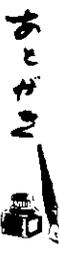
融資金額 千八百万円以内



## 停電のお知らせ

十一月二十六日(木) 午前九時正午まで 高山第三、高山第四、高田町五丁目、高田町六丁目の各一部

十一月三十日(明) 正午午後四時まで 太田高第一の一部、中在家、水沢市之沢、大石、南雲



○五六豪雪の記録写真集「雪との闘い」の編集が進んでいます。予約注文も順調で、続々と事務局に届いています。官製の具いのないもので、敢然と雪と闘った市民の姿かどのページにもあふれています。発行は十二月下旬、ご期待ください。十二月五日は大雪フェアー。今年の雪との闘い、まもなく本番です。